

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

学校名	嬉野市立五町田小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議をペーパーレス化したことは、業務改善への大きなきっかけとなった。しかし、年度当初は異動もあって多くの検討事項があり、紙媒体で確認する事も必要となってくる。ペーパーレス化だけにこだわらず、両方の良さをバランスよく取り入れることが大事である。 ・児童支援のためのケース会議は早期対応ができています。また、医療機関やSSW、心の相談員等との連携・協力もやっている。しかしながら、不登校やいじめなどの課題は多く、チームとして学校全体で取り組み、担任だけに抱え込まないようにする。 ・研究教科を国語に変更して2日目となり、「学び合い」を活用した授業づくりをどのように展開していくかが課題である。 ・タブレット端末が導入により、高学年だけでなく中学年や低学年でも授業での効果的な活用がなされた。学校評価もタブレット端末によるアンケートを行うことができ、今後も有効に活用していく。 ・情報モラルの問題や利用の仕方等、更なる家庭と連携した情報教育を推進することが必要である。

2 学校教育目標	<p>「かしこく やさしく たくましい五町田っ子の育成」</p> <p>○かしこい子（知）主体的に学び、集団の中で生き生きと活動できる子ども ○やさしい子（徳）自分で考え行動し、他者と協力できる子ども</p> <p>○たくましい子（体）心も体も健康で、ねばり強い子ども</p>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>① 全ての子どもが「活動する喜び」「分かる・できる喜び」「教え合い・学び合う喜び」「追究・工夫する喜び」を感じられる教育活動を推進し、学力の向上を図る。</p> <p>② 全ての子どもに「関わり合いの中で生き生きと学ぶ」機会を作り、「学校に行きたい」と思える期待感の向上を図る。</p>
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・学び合いを取り入れたわかりやすい授業の実践	○「嬉野メソッド」に基づく授業に取り組み、「授業がわかる」と回答した児童が90%以上。	・「嬉野メソッド」に基づく授業の中で、自分の考えを持つ場や学び合いの場を設定する。 ・思考を助ける掲示を活用したり、発問を工夫して、学習内容の理解を図る。
	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価のアンケートの「道徳の授業で学んだことを大切にしたいと思う」と回答した児童が90%以上	・年に2回アンケートを実施 ・道徳の授業・体験活動の充実 ・人権月間(11月) (ふれあい道徳、人権集会、きらりの木)
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの早期発見、早期対応 ○QUテストにおいて1学期よりも2学期は満足群を増やし、要支援群を減らす。 ○「学校が楽しい」という児童の割合が90%以上	・日常の観察を心がけ、子どもの小さなつぶやきを見逃さないようにし、子どもが相談しやすい雰囲気作りを行う。また、SOやSSW、心の相談員等との連携を図る。 ・月1回の心のアンケートや年2回のQUテストを行う。 ・子供同士で認め合うような学級づくりを努める。 ・各種おたよりで、学校での取り組みを周知する。
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・キャリアパスポートの活用を図る。 ・生活や学習において自分のためあてや見通しをもたせて、活動後のふりかえりを行うことで自分の成長につなげていく。
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	●「生活・家庭学習チェックシート」を活用し、生活習慣に関する項目が「できた」と答える児童が90%以上	・「生活・家庭学習チェックシート」に取り組み、各項目を意識して生活をさせ、自分の生活を振り返らせる。また、時間や時刻については、家庭で話し合っ決めてもらう。 ・「生活・家庭学習チェックシート」の意識づけを図るとともに、結果について情報を発信し、保護者との連携を図る。
	○体力づくり	○体育やスポーツチャレンジなど、「自分の記録を伸ばそうとがんばっている」と答える児童が90%以上	・体育学習の充実を図り、体育の時間やマラソン大会などにおける自己の記録向上に向けての意欲を高める。 ・佐賀県スポーツチャレンジに参加することを通して、運動の楽しさや競争することの楽しさを感じさせる。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	○「計画的・効率的に業務を進めている」と自己評価する職員の割合が90%以上を目指す。 ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(月45時間)を遵守する。	・学校行事やプロジェクトの活動を見直し・精選を行い、年間計画にもとづき、見直しをもって業務に取り組む。 ・校務フォルダーの整理を推進し、業務の効率化をめざす。 ・ペーパーレス化を推進して業務改善を行う。 ・定時退勤日(第1金曜日・第3水曜日)の推進

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育